

15th Annual Meeting of Japanese Society of Preventive Medicine

第15回日本予防医学会学術総会

プログラム・抄録集



ゆふいん

会期 平成29年5月27日（土）～28日（日）

会場 ゆふいん山水館（大分県由布市湯布院町）



メインテーマ
「地方からの予防医学」

大会長

藤倉 義久

大分大学医学部分子解剖学講座 教授

一般社団法人 日本予防医学会理事



一般社団法人 日本予防医学会

「植物発酵ペースト AO」摂取による抗酸化効果検証試験 および肌改善効果検証試験

○飯尾晋一郎¹⁾、本藤 和彦²⁾、鈴木 直子¹⁾、山下慎一郎¹⁾、和泉 達也³⁾

1) 株式会社オルトメディコ、2) 八雲香産株式会社、3) 広尾皮フ科クリニック

【目的】

本試験では、抗酸化能の高い果実や野菜を複数混合して発酵させた「植物発酵ペースト AO」がヒトの抗酸化能および肌の状態に与える影響を検証した。

【対象】

対象は、試験参加に同意した健常な成人日本人女性で日ごろ疲れやすいと自覚している者であった。そのうち、試験責任医師によって本試験の対象として適切と判断された 27 名が本試験に組み入れられた。

【方法】

本試験は非盲検前後比較試験であった。試験参加者は試験食品を 1 日 1 包 8 週間摂取した。酸化ストレスマーカーとして、尿中 8-OHdG および血中 PAO、尿中 PRL、尿中 HEL を測定し、酸化ストレスプロファイルによって体内の抗酸化能のバランスを調査した。また、肌の状態や自覚症状、安全性についても評価した。全ての検査は、摂取前と摂取 8 週間後に来院時に行われた。肌の状態と BMI は関連が深く、BMI が 18.5–25.0kg/m² の間（標準体型）の者は安定した肌の状態が示唆されている。そこで、肌の状態を揃えた場合における試験食品の影響を検証するために、標準体型の者を対象にした解析も行った。本試験はヘルシンキ宣言および人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則って実施された。

【結果】

全試験参加者 27 名 (51.1 ± 9.8 歳) が試験を完遂した。摂取前と比較して、摂取後に尿中 8-OHdG の低下 (P<0.001) および血中 PAO の上昇 (P<0.05)、酸化ストレス状態の改善 (P<0.001) が認められた。また、目尻のしわが有意に減少し (P<0.05)、多くの自覚症状が改善した (P<0.05)。標準体型の者 17 名 (52.2 ± 9.9 歳) においては、尿中 8-OHdG の低下 (P<0.05) および血中 PAO の上昇 (P<0.01)、酸化ストレス状態の改善 (P<0.001)、しわの改善 (P<0.05) がみられた他に、肌のシミの有意な減少が認められた (P<0.05)。

【結論】

「植物発酵ペースト AO」の 8 週間継続摂取は、日ごろ疲れやすいと自覚する健常な成人日本人女性の抗酸化能を向上し、肌や疲労に関する自覚症状やしわを改善した。また、標準体型の者は抗酸化能の向上やしわの改善の他に、シミも改善した。さらに、本試験の条件下では「植物発酵ペースト AO」に起因する有害事象は認められず、安全性に問題はなかった。